

環境への影響の大きい化学物質への対応

ニチレイグループは、事業の特性上、有害化学物質を大量に使用したり、排出したりすることはありません。しかし、冷凍食品の製造や物流センターの冷凍設備で使用する冷媒(フロン)、PCB含有のコンデンサーなど、複数の化学物質の使用・保管をしています。これらについては、法に定められた基準に従って適正に管理しています。

● ダイオキシン対策

ニチレイグループは、ダイオキシン(用語解説)の発生源の一つと言われる焼却炉の停止を順次進めてきました。2003年度は、唯一稼動していた(株)ニチレイフーズ博多工場の焼却炉を停止・撤去(2003年10月)、焼却炉の全廃を完了しました。

● PCBの保管

現在、PCB含有のコンデンサーなどを約300基所有していますが、未使用のものについては法に定められた基準に従って保管するとともに、保管状況を届け出しています。また、保管状況、届出状況については、社内監査時(→P14「環境監査」参照)および年度末に実施する各保有事業所でのチェックで確認しています。

● PRTR物質管理

ニチレイグループにおけるPRTR届出対象物質は、稼動焼却炉のダイオキシン、冷凍設備の冷媒として使用しているフロン(クロロジフルオロメタン R-22)、ボイラー燃料として使用している灯油に含まれるキシレンの3種です。

PRTR対象物質の排出量と移動量

物質名称	大気への排出量*1	事業所外への移動量*1
ダイオキシン類	0.09mg-TEQ*2	0.16mg-TEQ*2
クロロジフルオロメタン(R-22)	3.540kg	-
キシレン*3	-	-

*1 排出量、移動量は、届出事業所の合計値です
*2 「TEQ」は、ダイオキシン類の毒性の強さを表す単位です
*3 キシレンについては、排出、移動はありません

● フロンの使用

食品工場や物流センターの冷凍設備の冷媒として、主に指定フロン(HCFC R-22)を使用しています。冷媒は、密閉された冷凍設備の中で循環しているため、大気へ放出されることはほとんどありませんが、冷凍設備のメンテナンス時などに少量の洩れが発生するため補充が必要になります。

指定フロンは、オゾン層(用語解説)破壊や地球温暖化の原因物質と言われており、2020年には全廃される予定です。ニチレイグループは冷凍設備の技術情報の収集に努め、アンモニアなど自然冷媒(用語解説)オゾン層破壊係数・地球温暖化係数が小さな冷媒)を使用する冷凍設備の新設や、代替冷媒を既存設備の冷媒と入れ替えるだけで使用できるドロップイン冷媒の開発、検証を進めています。

● 土壌汚染対策

土壌汚染対策は、企業としての重要な社会的責任の一つであることから、2004年度中に全社方針を策定し、取り組みを進めていくこととしました。

これまでは、食品を中心に扱うという事業の特性上、直接的な土壌への有害物質の排出は少ないと考え、土地の売却や取得の際に、必要に応じた汚染状況の調査を実施するなど、案件ごとに個別対応をしてきました。

オフィスにおける環境保全の取り組み

オフィスから発生する環境負荷は、生産や物流を担う事業所から発生する環境負荷と比較すれば少ないものの、ニチレイグループ全体でゼロエミッション活動を推進するために、オフィスにおいても、ごみ分別・リサイクルやグリーン購入に積極的に取り組んでいます。

● オフィスにおけるごみゼロへの取り組み

これまで、食品工場や物流センターなどを中心に推進してきたごみゼロへの取り組みを、本社・支社などのオフィスにおいても開始しました。まずは、本社のある東銀座ビルにおけるごみの分別徹底に取り組み、2004年3月より各フロアに13種類に分けた分別コーナーを設置し、すべての役員・従業員がごみの分別廃棄を行っています。



分別コーナー

今後の取り組み

2006年度末を目標に、ごみゼロへ

まだリサイクルできていない資源ごみのリサイクル委託先の確保を進め、2006年度末を目標に、本社におけるごみゼロを目指します。

● グリーン購入

名刺、OA用紙、社用封筒、文書保存箱について、独自のグリーン購入ガイドラインを設け、グリーン購入(用語解説)を推進しています。また、印刷物を発行する際に、再生紙や環境負

荷が低い印刷方法を採用したり、PETボトルの再生原料を使用した制服を使用するなど、事業所ごとに取り組みを進めています。

グリーン購入ガイドラインとグリーン購入率*1

対象品目	ガイドライン	2002年度*2	2003年度*3
名刺	ケナフ(非木材紙(用語解説))100%または再生紙(古紙100%)	91%	95%
OA用紙	再生紙(古紙100%)、白色度70%以下	67%	97%
社用封筒	再生紙(クラフト紙100%)	83%	95%
その他文書保存箱など	再生紙、ボール箱など(古紙100%)	100%	100%
事務用品	環境負荷の低減を視野に入れて製造された商品(エコマーク(用語解説)商品など)を優先的に購入	未集計	未集計

*1 対象品目のグリーン購入品の購入総額÷対象品目の購入総額×100 *2 集計範囲(株)ニチレイ単体のみ *3 集計範囲:ニチレイグループ国内全事業所

今後の取り組み

グリーン購入対象の拡大

2004年度は、事務用品(文房具)および紙の印刷物を対象に加え、実態把握と2006年度末目標を設定します。事務用品以外の資材などについても、各カンパニーの事業内容に沿って環境に配慮した購入を推進します。



国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)

グリーン購入法とは?

循環型社会形成に向けて、再生品の製造・供給および購入を促すための法律。

何が求められるの?

事業者や国民は、物品の購入に際してできる限り環境物品を選択することが求められています。国が定める「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」において、重点的に調達を推進すべき環境物品などの種類とその判断基準が明確化されており、これらの対象となる物品を製造しているメーカーは、判断基準に合致した商品を提供する必要があります。

ニチレイグループでは

名刺やOA用紙など、グリーン購入対象品目および購入時のガイドラインを設定し、グリーン購入を推進しています。



特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)

PRTR法とは?

PRTR(Pollutant Release and Transfer Register)法とは、人の健康や動植物の生息、生育に支障を及ぼす可能性のある化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたかなどのデータを把握し、集計し、公表する仕組みについて定めた法律。

何が求められるの?

対象としてリストアップされた化学物質を一定量以上製造したり使用したりしている事業者は、その排出量や移動量を把握し、年1回届出ることが義務付けられています。

ニチレイグループでは

各事業所で、対象物質の使用実績を把握の上、届出が必要なものについては行政機関への届出を実施しています。

特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律(オゾン層保護法)

オゾン層保護法とは?

人や動植物にとって有害な紫外線を遮断する役割を担っているオゾン層を保護するため、フロンなどのオゾン層破壊物質の製造・排出規制を定めた法律。

何が求められるの?

フロンをはじめとするオゾン層破壊物質の生産などが規制されており、冷凍設備の冷媒として使用されている指定フロン(HCFC:ハイドロクロロフルオロカーボン)が、2020年に全廃となります。

(日本冷凍空調工業会では自主規制として使用期限をさらに10年前倒しており2010年までとしています)

ニチレイグループでは

営業用冷蔵庫や生産設備で使用する特定フロンを1996年度末に全廃しました。現在は、指定フロン(R-22)の廃止に備え、冷媒や冷却システムに関する技術情報収集や検証活動を実施しています。